平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月7日

上場会社名　株式会社 ヤマノホールディングス　　上場取引所　大
コード番号　7571　URL　http://www.yamano-hd.com/
代表者　(役職名) 代表取締役社長兼最高執行責任者　(氏名) 山野　義友
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長　(氏名) 金木　俊明　TEL 03-3376-7878

四半期報告書提出予定日　平成24年11月8日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(平成24年11月14日開催予定　機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	10,873	△3.1	91	60.2	68	101.7	105	―
24年3月期第2四半期	11,226	△10.6	56	―	33	―	△36	―

(注)包括利益　25年3月期第2四半期　116百万円　(―%)　24年3月期第2四半期　△41百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	2.84	―
24年3月期第2四半期	△1.34	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	11,478	2,386	6.6	11.65
24年3月期	11,679	2,290	5.6	8.96

(参考) 自己資本　25年3月期第2四半期　751百万円　24年3月期　651百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	0.00	―	0.00	0.00
25年3月期	―	0.00			
25年3月期(予想)			―	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,900	△0.5	540	11.0	500	19.1	400	99.2	11.15

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	34,497,058 株	24年3月期	34,497,058 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	15,966 株	24年3月期	15,966 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	34,481,092 株	24年3月期2Q	32,743,715 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく連結財務諸表及び財務諸表の監査手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、1株当たり当期純利益の算定方法につきましては、当期純利益の予想値から普通株主に帰属しない金額(優先配当額)を控除して算出しております。

・決算説明会の資料及び動画は、決算説明会終了後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る１株当たりの配当金の内訳及び配当金総額は以下のとおりです。

Ａ種優先株式

	１株当たり配当金					配当金総額（合計）
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円
23年３月期	―	―	―	0 00	0 00	―
24年３月期	―	―	―	0 00	0 00	―
25年３月期（予想）	―	―	―	5,000,000 00	5,000,000 00	

（注）Ａ種優先株式の発行数は１株であります。また、平成24年３月期期末配当金は、当社定款に規程される分配可能額(5,000千円)に達しなかったため配当は行いませんが、当社定款に定められた配当額及び優先株式の累積条項に従い、前期までの累積配当額10,041千円は累積され、当期の配当額5,000千円と合わせて優先株主に対して配当を行う予定であります。

Ｂ種優先株式

	１株当たり配当金					配当金総額（合計）
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円
23年３月期	―	―	―	0 00	0 00	―
24年３月期	―	―	―	0 00	0 00	―
25年３月期（予想）	―	―	―	10,556,564 20	10,556,564 20	

（注）Ｂ種優先株式の発行数は１株であります。また、平成24年３月期期末配当金は、当社定款に規程される分配可能額(10,556千円)に達しなかったため配当は行いませんが、当社定款に定められた配当額及び優先株式の累積条項に従い、前期までの累積配当額21,199千円は累積され、当期の配当額10,556千円と合わせて優先株主に対して配当を行う予定であります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 4
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 5
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 5
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 5
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 5
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 5
３．四半期連結財務諸表 …… 6
（１）四半期連結貸借対照表 …… 6
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 8
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 ……10
（４）継続企業の前提に関する注記 ……12
（５）セグメント情報等 ……12
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……13

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間における我が国経済は、復興需要や政策支援などにより景気は緩やかな回復基調となったものの、欧州債務危機や円高の長期化、世界経済の減速懸念などを要因に先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが属する業界におきましては、一部高額品の消費に回復傾向が見られたものの、先行き不透明感から個人消費の回復力は弱く、台風や残暑などの天候不順もあり、経営環境は厳しい状況が続いております。

そのような状況のもと、「第二創業」の３年目となる当期におきましては、従来の「ソフトと価値の提供」をテーマとした商品以外のサービス・満足の提供を目指した施策に加え、人財育成と採用を強化し、今後の出店・拡大に向けた体制の確立に努めてまいりました。

また、平成24年４月１日付で当社の和装事業を堀田丸正グループのＨＭリテーリングス株式会社に事業譲渡し、和装関連事業におけるシナジーの最大化に努めております。

店舗展開としては、美容事業において４月に１店舗、５月に２店舗、６月に１店舗のリニューアルを実施、スポーツ事業において４月に２店舗の移転リニューアル、９月に１店舗の出店を実施、和装事業において９月に１店舗の出店を実施、卸売事業において５月に１店舗の出店を実施、宝飾事業において８月に１店舗の出店を実施しております。

人財育成策としては、各事業において知識習得やサービス向上を目的とした各種研修を実施しております。また、美容事業、スポーツ事業、和装事業で新卒採用を実施している他、卸売事業においても新卒採用を再開いたしました。

当第２四半期連結累計期間における売上高は、卸売事業の取引先見直し、前期における宝飾事業の店舗閉鎖の影響等により、108億73百万円（前年同四半期比3.1％減）となりましたが、一方で和装事業の売上高が前年同四半期を上回ったことなどにより利益は改善し、営業利益は91百万円（前年同四半期比60.2％増）、経常利益は68百万円（前年同四半期比101.7％増）となり、法人税等還付税額等を計上したことにより四半期純利益は105百万円（前年同四半期は四半期純損失36百万円）となりました。

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

1)「美容事業」

美容事業につきましては、他社との差別化戦略として、ターゲットを明確化した店舗設計である「ファミリーサロン」「アンチエイジングサロン」への店舗改修を実施、オーガニックヘッドスパ「山野式ヘッドスパ」の導入店拡大をすすめております。

当第２四半期連結累計期間においては、人財育成強化策として技術マニュアルを整備し、新教育スケジュールの運用をスタートいたしました。また、「ファミリーサロン」へのリニューアルを１店舗、「アンチエイジングサロン」へのリニューアルを３店舗実施し、平成24年９月30日現在の店舗数は、直営119店舗、ＦＣ５店舗となっております。

差別化メニューとして打ち出している「山野式ヘッドスパ」は、導入店を前期末比５店舗増加した42店舗に導入するとともに、導入店のヘッドスパ技術者を増強しております。

美容事業の売上高は、台風や猛暑による客数減により14億74百万円（前年同四半期比2.8％減）となり、セグメント利益１億20百万円（前年同四半期比11.0％減）となりました。

2)「スポーツ事業」

スポーツ事業につきましては、「ソフトと価値の提供」として①専門店ならではの提案力強化、②体験サービスイベントの開催、③メンテナンスサービスの商品化、④ＷＥＢ通販の拡大を行っております。

当第２四半期連結累計期間においては、２店舗の移転リニューアル、１店舗の出店を実施し、平成24年９月30日現在の店舗数は19店舗となっております。

また、ＷＥＢ通販の取扱カテゴリを拡げ掲載アイテム数を増加し、ＷＥＢ通販の売上高は前年同四

半期比で105%となっております。

人財育成強化策としては、ダイビング研修や登山研修、商品研修などを実施し、提案力の向上に努めております。

スポーツ事業の売上高は、夏季催事の減少や、前年同四半期において防災関連の特需があった反動等により、17億19百万円（前年同四半期比3.0%減）となりましたが、催事費用の減少等により、セグメント損失86百万円（前年同四半期はセグメント損失88百万円）となりました。

3)「ＤＳＭ事業」

ＤＳＭ事業につきましては、ミシン点検サービスや布団の丸洗いクリーニングなどのサービス機能を拡充し、催事集客強化による販売施策を行っております。

ＤＳＭ事業の平成24年９月30日現在の事業所数は、85店舗となっております。

当第２四半期連結累計期間においては、通常の大型催事を開催するほか、大型ショッピングセンター等の撤退により買い物の場が減少してしまった消費者をターゲットに、地方の各ショップにて洋装品を中心にしたトータルファッションのミニ展示会を実施しております。

また、事業所の統廃合を要因とした販売員減少に対応するため、販売員増員プロジェクトを立ち上げ、紹介キャンペーンなどを実施しております。

ＤＳＭ事業の売上高は、化粧品事業撤退等の影響により、17億24百万円（前年同四半期比4.6%減）となり、セグメント利益51百万円（前年同四半期比11.5%増）となりました。

4)「和装事業」

和装事業につきましては、①店頭における着方教室「前楽結び着方教室」、②きものパーティなど「着る機会の提供」、③お手入れサービス「きものクリニック」の３施策を柱として、顧客の活性化、定着化に努めております。

当第２四半期連結累計期間においては、９月に1店舗の出店を実施し、平成24年９月30日現在の店舗数は40店舗となっております。

店頭販売の活性化と効率化を図るべく、店頭催事の内容を統一した催事を引続き実施しております。また、消費者向けのサイトを新しくオープンし、９月に１店舗の新規出店を実施いたしました。

この結果、和装事業の売上高は15億29百万円（前年同四半期比12.2%増）となり、セグメント利益65百万円（前年同四半期比834.1%増）となりました。

5)「卸売事業」

卸売事業につきましては、「卸から顧客創造」戦略として、和装部門の売場コーナー化の推進、アパレル部門の拡大に向けた施策を実施しております。

当第２四半期連結累計期間においては堀田丸正アパレル部門の直営店を１店舗出店しており、平成24年９月30日現在の卸売事業の店舗数は、堀田丸正のアパレル直営店が14店舗、タケオニシダ・ジャパンの直営店が19店舗となっております。

卸売事業の売上高は、取引先量販店の統合などにより、35億83百万円（前年同四半期比4.4%減）となり、セグメント損失８百万円（前年同四半期はセグメント損失９百万円）となりました。

6)「宝飾事業」

宝飾事業につきましては、店外大型催事への参加や店頭催事の絞込みなど事業効率の向上に努めてまいりました。

当第２四半期連結累計期間においては、８月に１店舗の出店を実施しており、平成24年９月30日現在において30店舗となっております。

宝飾事業の売上高は、店外大型催事の参加店増などにより売上高の確保に努めてまいりましたが、前期における店舗閉鎖等の影響により、５億１百万円（前年同四半期比12.5%減）となり、セグメント利益は２百万円（前年同四半期比84.4%減）となりました。

7)「その他の事業」

その他の事業の事業内容は、主に堀田（上海）貿易有限公司の意匠撚糸の販売、かねもり事業部の代理店を通じた呉服等を中心とした催事販売、RC卸事業部の健康器具卸売、株式会社アールエフシー及び株式会社ヤマノ1909セイビングの前払式特定取引業による手数料収益であります。

その他の事業の売上高は３億41百万円（前年同四半期比23.5％減）となり、セグメント損失16百万円（前年同四半期はセグメント損失９百万円）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第２四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ２億円減少し114億78百万円となりました。これは、主に流動資産においては現金及び預金が１億78百万円減少、受取手形及び売掛金が３億41百万円減少し、そして、固定資産においては敷金及び保証金が46百万円減少し、のれん２億15百万円増加によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比べ２億96百万円減少し90億92百万円となりました。これは、主に長期借入金が１億15百万円増加したものの、未払金が１億67百万円減少、１年内償還予定の社債が１億11百万円減少、支払手形及び買掛金が42百万円減少したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比べ95百万円増加し23億86百万円となりました。これは、主に当第２四半期連結累計期間の四半期純利益計上による利益剰余金の増加１億５百万円によるものであります。なお、平成24年６月28日開催の定時株主総会の決議に基づき平成24年８月１日付で減資を実施したことにより、資本金が13億47百万円及び資本剰余金が18億70百万円各々減少し、利益剰余金が32億17百万円増加しております。

第２四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フロー

当第２四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、税金等調整前四半期純利益が82百万円となり、売上債権等の回収が増加したことにより、前年同四半期連結会計期間末に比べ８億41百万円増加し15億77百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、23百万円（前年同四半期は２億83百万円の支出）となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益82百万円に対し、売上債権の減少額３億43百万円、たな卸資産の増加額１億85百万円、利息の支払額70百万円、法人税等の支払及び還付額58百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、２億８百万円（前年同四半期は48百万円の収入）となりました。

これは主に、差入保証金の回収による収入79百万円、子会社株式取得により支出２億19百万円、敷金・保証金の差入による支出34百万円、有形固定資産の取得による支出59百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は、４百万円（前年同四半期は２億69百万円の支出）となりました。

これは主に、長期借入金による収入２億19百万円、社債の償還による支出１億11百万円、長期借入金の返済による支出86百万円、少数株主への配当金による支出20百万円によるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年３月期の通期業績予想につきましては、前回（平成24年８月１日発表「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載しております。）の内容から売上高、営業利益、経常利益について修正はありませんが、当期純利益を前回予想の３億70百万円から４億円に修正しております。

なお、業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しておりますが、実際の数値は今後様々な要因により予想数値と異なる結果になる可能性があります。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第２四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

４．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,279,607	2,101,180
受取手形及び売掛金	2,819,446	2,477,982
商品及び製品	2,783,804	2,981,515
仕掛品	25,312	22,958
原材料及び貯蔵品	67,713	56,426
その他	285,565	289,171
貸倒引当金	△75,644	△89,244
流動資産合計	8,185,805	7,839,990
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,862,708	1,781,542
減価償却累計額	△1,201,475	△1,144,048
建物及び構築物（純額）	661,233	637,493
機械装置及び運搬具	33,086	33,086
減価償却累計額	△32,030	△32,165
機械装置及び運搬具（純額）	1,056	920
工具、器具及び備品	644,170	629,206
減価償却累計額	△596,156	△579,433
工具、器具及び備品（純額）	48,014	49,773
土地	862,234	859,413
リース資産	23,195	28,132
減価償却累計額	△6,187	△8,058
リース資産（純額）	17,008	20,073
有形固定資産合計	1,589,547	1,567,674
無形固定資産		
のれん	－	215,350
その他	66,777	58,455
無形固定資産合計	66,777	273,805
投資その他の資産		
投資有価証券	119,310	113,693
長期貸付金	57,696	51,870
敷金及び保証金	1,535,241	1,488,588
その他	842,671	470,129
貸倒引当金	△717,982	△327,211
投資その他の資産合計	1,836,937	1,797,070
固定資産合計	3,493,262	3,638,551
資産合計	11,679,067	11,478,541

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年３月31日)	当第２四半期連結会計期間 (平成24年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,687,538	3,644,813
短期借入金	2,107,702	2,101,577
1年内返済予定の長期借入金	98,724	116,124
1年内償還予定の社債	111,250	―
未払金	845,096	677,987
前受金	1,026,979	990,175
未払法人税等	66,835	81,547
賞与引当金	30,300	22,610
返品調整引当金	20,714	11,965
ポイント引当金	68,180	57,982
株主優待引当金	1,446	1,446
その他	698,695	671,042
流動負債合計	8,763,462	8,377,272
固定負債		
長期借入金	84,004	199,360
長期未払金	296,025	273,699
繰延税金負債	2,710	672
資産除去債務	175,534	171,725
負ののれん	14,479	10,530
その他	52,484	58,955
固定負債合計	625,237	714,943
負債合計	9,388,699	9,092,215
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,602,921	255,565
資本剰余金	2,027,372	156,825
利益剰余金	△2,915,108	408,521
自己株式	△3,019	△3,019
株主資本合計	712,167	817,892
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△718	△2,552
為替換算調整勘定	△60,085	△63,474
その他の包括利益累計額合計	△60,804	△66,026
少数株主持分	1,639,004	1,634,459
純資産合計	2,290,367	2,386,326
負債純資産合計	11,679,067	11,478,541

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）
売上高	11,226,342	10,873,081
売上原価	6,643,863	6,383,779
売上総利益	4,582,479	4,489,301
販売費及び一般管理費	4,525,522	4,398,067
営業利益	56,957	91,234
営業外収益		
受取利息及び配当金	3,908	3,719
受取地代家賃	9,856	10,242
協賛金収入	8,650	6,845
負ののれん償却額	6,922	3,991
その他	32,081	34,789
営業外収益合計	61,418	59,588
営業外費用		
支払利息	63,853	43,649
手形売却損	517	642
貸倒引当金繰入額	－	23,076
その他	20,044	14,959
営業外費用合計	84,415	82,328
経常利益	33,959	68,494
特別利益		
固定資産売却益	196	135
関係会社株式売却益	－	21,700
貸倒引当金戻入額	－	61,105
その他	4	385
特別利益合計	200	83,326
特別損失		
固定資産除却損	6,802	9,195
災害による損失	3,592	－
減損損失	741	8,083
投資有価証券評価損	－	788
店舗閉鎖損失	6,236	6,436
事務所移転費用	10,836	－
アドバイザリー手数料	－	23,057
その他	2,554	21,671
特別損失合計	30,764	69,232
税金等調整前四半期純利益	3,395	82,588
法人税、住民税及び事業税	36,663	73,288
法人税等の更正、決定等による納付税額又は還付税額	－	△113,738
法人税等合計	36,663	△40,450
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△33,267	123,037
少数株主利益	2,737	17,311
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△36,004	105,725

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△33,267	123,037
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,022	△3,550
為替換算調整勘定	△12,035	△3,047
その他の包括利益合計	△8,012	△6,597
四半期包括利益	△41,280	116,439
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△45,733	99,853
少数株主に係る四半期包括利益	4,453	16,586

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,395	82,588
減価償却費	69,720	64,843
減損損失	741	8,083
のれん償却額	－	3,650
負ののれん償却額	△6,922	△3,991
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△96,170	－
返品調整引当金の増減額（△は減少）	△3,976	△8,748
賞与引当金の増減額（△は減少）	4,240	△7,690
ポイント引当金の増減額（△は減少）	△7,713	△10,198
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△66,477	△377,170
受取利息及び受取配当金	△3,908	△3,719
支払利息	63,853	43,649
手形売却損	517	642
関係会社株式売却損益（△は益）	－	△21,700
有形固定資産除却損	6,802	9,195
有形固定資産売却損益（△は益）	△196	△135
投資有価証券評価損益（△は益）	－	788
売上債権の増減額（△は増加）	△15,281	343,604
たな卸資産の増減額（△は増加）	△222,432	△185,712
仕入債務の増減額（△は減少）	31,693	△45,114
前受金の増減額（△は減少）	38,782	△37,031
その他	40,675	175,935
小計	△162,657	31,768
利息及び配当金の受取額	3,609	3,574
利息の支払額	△65,981	△70,452
手形売却に伴う支払額	△517	△642
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△57,625	58,822
営業活動によるキャッシュ・フロー	△283,172	23,071
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△50,889	△59,340
有形固定資産の売却による収入	200	7,049
無形固定資産の取得による支出	△1,359	△7,050
投資有価証券の取得による支出	△768	△813
投資有価証券の売却及び償還による収入	40,562	－
子会社株式の取得による支出	－	△219,000
子会社株式の売却による収入	－	21,700
貸付けによる支出	△250	△5,356
貸付金の回収による収入	7,745	19,790
敷金及び保証金の差入による支出	△30,954	△34,111
差入保証金の回収による収入	72,945	79,717
担保預金の増減額（△は増加）	11,036	△13,025
その他	－	2,359
投資活動によるキャッシュ・フロー	48,267	△208,079

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△66,323	△6,125
長期借入れによる収入	60,000	219,000
長期借入金の返済による支出	△95,184	△86,244
社債の償還による支出	△153,750	△111,250
新株予約権の行使による株式の発行による収入	5,940	－
少数株主への配当金の支払額	△20,291	△20,280
子会社の自己株式の取得による支出	△41	△95
財務活動によるキャッシュ・フロー	△269,649	△4,996
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7,401	△1,447
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△511,956	△191,452
現金及び現金同等物の期首残高	1,247,730	1,768,867
現金及び現金同等物の四半期末残高	735,773	1,577,415

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

Ⅰ 前第２四半期連結累計期間(自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				
	美容	スポーツ	ＤＳＭ	和装	卸売
売上高					
外部顧客への売上高	1,516,561	1,772,893	1,807,439	1,363,170	3,747,900
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	64,090
計	1,516,561	1,772,893	1,807,439	1,363,170	3,811,991
セグメント利益又は損失(△)	135,335	△88,366	45,851	7,027	△9,614

	報告セグメント		その他（注１）	合計	調整額（注２）	四半期連結損益計算書計上額（注３）
	宝飾	計				
売上高						
外部顧客への売上高	572,453	10,780,419	445,923	11,226,342	―	11,226,342
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	64,090	9,629	73,720	△73,720	―
計	572,453	10,844,510	455,552	11,300,062	△73,720	11,226,342
セグメント利益又は損失(△)	14,366	104,600	△9,748	94,852	△37,894	56,957

（注）１ その他には、報告セグメントに含まれない事業セグメントである金融事業及びその他事業等を含んでおります。

２ セグメント利益の調整額△37,894千円には、セグメント間取引消去2,921千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△45,420千円及び棚卸資産の調整額4,604千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３ セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

（単位：千円）

	美容	スポーツ	ＤＳＭ	和装	卸売	宝飾	その他	全社・消去	合計
減損損失	―	―	―	741	―	―	―	―	741

Ⅱ 当第２四半期連結累計期間(自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				
	美容	スポーツ	ＤＳＭ	和装	卸売
売上高					
外部顧客への売上高	1,474,004	1,719,310	1,724,832	1,529,039	3,583,528
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	53,642
計	1,474,004	1,719,310	1,724,832	1,529,039	3,637,171
セグメント利益又は損失(△)	120,471	△86,101	51,107	65,638	△8,166

	報告セグメント		その他(注１)	合計	調整額(注２)	四半期連結損益計算書計上額(注３)
	宝飾	計				
売上高						
外部顧客への売上高	501,114	10,531,831	341,250	10,873,081	―	10,873,081
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	53,642	13,272	66,915	△66,915	―
計	501,114	10,585,473	354,522	10,939,996	△66,915	10,873,081
セグメント利益又は損失(△)	2,239	145,188	△16,980	128,207	△36,973	91,234

(注) １ その他には、報告セグメントに含まれない事業セグメントである金融事業及びその他事業等を含んでおります。

２ セグメント利益の調整額△36,973千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△37,666円及び棚卸資産の調整額693千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３ セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位：千円)

	美容	スポーツ	ＤＳＭ	和装	卸売	宝飾	その他	全社・消去	合計
減損損失	1,881	―	―	183	―	―	―	6,018	8,083

３．報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

(６) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

平成24年６月28日開催の定時株主総会決議により、平成24年８月１日付で会社法第447条第１項及び第448条第１項の規定に基づき、資本金及び資本準備金を減少させ、その他資本剰余金に振替えた後、同日付で会社法第452条の規定に基づき、その他資本剰余金を減少し、繰越利益剰余金に振替え、欠損填補を行っております。この結果、資本金が1,347,356千円、資本準備金が561,020千円減少し、当第２四半期会計期間末において資本金が255,565千円、資本準備金が155,565千円となっております。